

### 雇い止め撤回へ 25日水戸で集会

NTT関連合同労組支部

東日本NTT関連合同労働組合(N関労)の茨城支部(中村洋子委員長)は22日、県庁で記者会見し、組合員の男性派遣社員(32)Ⅱ水戸市Ⅱの雇用継続を求めて25日に集会を開くと発表した。

同支部によると、男性は2003年にNTT東日

本の県内の地域会社に臨時社員として雇用され、07年からは系列の人材派遣会社の登録型派遣社員になった。当初から電話による故障受け付けの業務に従事し、現在も派遣先の「NTT東日本―茨城―で同じ仕事を続けている。この業務が県外に集約されるのに伴って、派遣元の派遣会社から10月末に11月いっぱいでの契約終了を通告されたという。

同支部は、男性の仕事の

内容が派遣可能期間の制限を受けない専門的な業務とされていることを疑問視し、茨城労働局に調査を申請している。「26業種にあたらなければ派遣は3年まで。直接雇用すべし」と主張している。

25日は午前中から水戸市大町3丁目の勤務先近くで抗議集会や座り込みを予定している。

#### 雇用継続求め会見

NTT東日本のグループ会社で10年余り勤務した派遣スタッフが11月いっぱい雇い止めになったとして、東日本NTT関連合同労働組合茨城支部は22日、県庁で記者会見し、雇用の継続を求めた。

同支部によると、登録型派遣社員の沼田雅晴さん(32)(水戸市)は2003年2月、NTT東日本の県内の地域会社の臨時社員となり、07年4月から派遣社員に切り替わった。「113番」で電話の故障を受け付ける業務を担当していたが、会社側の業務集約に伴い、11月末での契約解除を通知されたという。

同支部は「沼田さんの業務は派遣期間に制限のある業種だ。派遣法に基づき直接雇用へ切り替え、雇用を継続すべきだ」としている。